

Conductor と CUCM の間の HTTPS 統合に関する問題のトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[問題](#)

[登録ステータスに *Unregistered* と表示される](#)

[アドホック会議を作成できない](#)

[解決策](#)

[FQDN で設定された SIP トランク](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Conductor と Cisco Unified Communications Manager (CUCM) の間の HTTPS 統合において発生する問題について説明します。

問題

アドホック会議のための Conductor と CUCM 間の HTTPS 統合が失敗する。この問題が発生するときには、主に次の 2 つの症状があります。

- CUCM 上の Conductor の会議ブリッジの登録ステータスに **Unregistered** と表示される。
- アドホック会議の作成に失敗する。

以下のセクションでは、これらの 2 つの症状についてさらに詳しく説明します。

登録ステータスに *Unregistered* と表示される

この症状は、次の 2 つのシナリオで発生します。

- Conductor の設定ページで [Override SIP trunk destination as HTTP Address] チェックボックスがオフになっており、Conductor の会議ブリッジに関連付けられている Session Initiation Protocol (SIP) トランクに、IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 (FQDN) として設定されている宛先アドレスが含まれている。
ヒント：FQDN SIP トランクのシナリオの詳細については、このドキュメントのセクション「[FQDN で設定された SIP トランク](#)」を参照してください。
- Conductor の設定ページで [Override SIP trunk destination as HTTP Address] チェックボックスがオンになっており、IP アドレスとして設定されている。

以下の図は、これらの両方のシナリオの登録ステータスを示しています。

この登録失敗の根本原因は、HTTPS/Transport Layer Security (TLS) に使用されるライブラリにあります。ライブラリが HTTPS/TLS の IP アドレス形式として Uniform Resource Identifiers (URI) をサポートしていないため、TLS のハンドシェイクが失敗し、*Encrypted* アラートが出されます。

TLS のハンドシェイクは概ね次のように発生します。

1. CUCM が Conductor へ *TLS Client Hello* メッセージを送信します。
2. Conductor が CUCM へ *Server Hello* メッセージと証明書情報を送信します。
3. Conductor が CUCM へ *Server Hello Done* と *Server Key Exchange* の 2 つのメッセージを送信します。
4. CUCM が Conductor へ *Client Key Exchange*、*Change Cipher Spec*、および *Encrypted Handshake* の 3 つのメッセージを送信します。
5. Conductor が CUCM へ *Change Cipher Spec* と *Encrypted Handshake* の 2 つのメッセージを送信します。
6. CUCM が Conductor へ *Encrypted* アラートを送信します。

アドホック会議を作成できない

この症状は、上記の症状に回避策が適用されると発生します。つまり、アドホック会議の作成が失敗します。

この症状の根本原因は Conductor にあります。Conductor は、URI が FQDN を使用して形成されると、CUCM からの **conference.create** アプリケーション プログラム インターフェイス (API) 呼び出しの処理に失敗します。

その後 Conductor は次のイベントをログに記録します。

```
Event="An API request could not be processed." Command="conference.create"  
Conference_name="001035060001" Detail="<Fault 201:  
'Request received to a non ad-hoc IP address'>
```

注: `Conference_name` の値はコールごとに異なります。

解決策

CUCM と Conductor 間での HTTPS の統合とアドホック会議の作成を正常に機能させるには、Cisco Bug ID [CSCut22572](#) のフィックスが必要です。このフィックスにより、HTTPS の宛先アドレスを FQDN として設定できます。

注: FQDN は、Conductor のアドホック ロケーションに関連付けられている仮想

IP (VIP) に解決される必要があり、Conductor 証明書にサブジェクト代替名 (SAN) 属性として含まれている必要があります。

長期的には、Cisco Bug ID [CSCut10254](#) で説明している機能強化により、手動/オーバーライドの設定または SIP トランクから、HTTPS 宛先アドレスを IP アドレスで設定できるようになります。

FQDN で設定された SIP トランク

SIP トランク サービスの状態として、*No Service* や *Down* と表示されることがあります。これは次の場合に発生します。

- SIP トランクの宛先アドレスが FQDN で設定されている。
- FQDN が、Conductor の設定ページに示されているアドホック ロケーションに関連付けられた VIP に解決される。

次に例を示します。

この根本原因は Conductor にあります。Conductor は、CUCM から送信される *SIP Options* メッセージに返信しません。SIP URI は宛先アドレス (この例では FQDN) に基づいて作成されますが、Conductor は IP アドレスの表記を想定しています。

```
2015-03-27T18:00:23+01:00 conductorcucm b2bua[28262]: UTCTime="2015-03-27 17:00:23,269"
Module="network.sip" Level="DEBUG": Action="Received" Local-ip="10.48.36.195"
Local-port="5061" Src-ip="10.48.36.128" Src-port="40523"
Msg-Hash="17750686918648045057"
```

```
SIPMSG:
|OPTIONS sip:condcucmadhoc.vngtp.lab:5061 SIP/2.0
Via: SIP/2.0/TLS 10.48.36.128:5061;branch=z9hG4bK1539977cd7264
Call-ID: c0a17300-51518ca7-15313-8024300a@10.48.36.128
CSeq: 101 OPTIONS
Contact: <sip:10.48.36.128:5061;transport=tls>
From: <sip:10.48.36.128>;tag=1335522536
To: <sip:condcucmadhoc.vngtp.lab>
Max-Forwards: 0
User-Agent: Cisco-CUCM10.5
Date: Fri, 27 Mar 2015 17:00:23 GMT
Content-Length: 0
```

```
2015-03-27T18:00:23+01:00 conductorcucm b2bua[28262]: UTCTime="2015-03-27 17:00:23,322"
Module="developer.applicationmanager.search" Level="INFO"
CodeLocation="ppcmains/ivy/search/SearchFsmState_Idle.cpp(82)"
Method="SearchFsmState_Idle::handleRequest" Thread="0x7f6ea9888700":
AppId="59" LegId="ASide[1]" CurState="SearchFsmState_Idle"
Detail="Received search" searchContext="mTarget : sip:condcucmadhoc.vngtp.lab
mRouteSet:
"
```

```
2015-03-27T18:00:23+01:00 conductorcucm b2bua[28262]: UTCTime="2015-03-27 17:00:23,325"
Module="developer.applicationmanager.search" Level="INFO"
CodeLocation="ppcmains/ivy/search/SearchFsmState_Idle.cpp(96)"
Method="SearchFsmState_Idle::performSearch" Thread="0x7f6ea9888700":
AppId="59" LegId="BSide[1]" CurState="SearchFsmState_Idle"
Detail="Initiating search" searchContext="mTarget : sip:condcucmadhoc.vngtp.lab
```

```
mRouteSet:  
"  
2015-03-27T18:00:23+01:00 conductorcum b2bua[28262]: UTCtime="2015-03-27 17:00:23,344"  
Module="developer.modulefactory.threadeddispatcher" Level="ERROR"  
CodeLocation="ppcmains/ivy/threadeddispatcher/ThreadedDispatcher.cpp(106)"  
Method="ThreadedDispatcher::run" Thread="0x7f6ea9888700": Detail="Caught  
std::exception" what="DefaultRouteHeaderStrategy::manipulateOutgoingRouteSet:  
Policy routing configured, but no outgoing route found."
```

これは、Conductor がアドホック FQDN を解決できる場合にも発生します。

注: 特に明記されていない限り、この問題は Cisco Bug ID [CSCut22572](#) にも記載されていま
す。